

2011年8月31日

ミズノの地球環境保全活動
『Crew 21』発足20周年

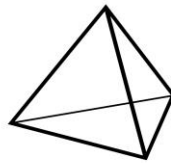
1991年9月1日に現在の会長である水野正人（当時社長）をリーダーとする地球環境保全活動「Crew 21」を発足し、今年で発足20周年を迎えました。

Crew 21とは、「Conservation of Resources and Environmental Wave 21」の頭文字をとったもので、21世紀に向けて“宇宙船地球号”の乗組員としての役割を担い、資源と環境の保全活動を実施していくという想いを込めた当社の「地球環境保全活動」の名称です。

現在、常務取締役・北野周三を委員長とし、メンバー17人による「Crew 21」委員会を定期的に行き、地球環境保全活動の方針設定や具体的な活動計画の制定を行っています。

ミズノでは、環境保全活動をCSRの3つの基本理念の1つと位置付け、持続可能な社会の実現に向けた企業経営を実践しています。

これまでの主な活動をご報告するとともに、今後ステークホルダーと共にさらなる地球環境保全活動の強化を行なうことで社会的責任を果たしていきます。



ミズノ地球環境保全活動

Crew 21

Conservation of Resources
and
Environmental Wave

「Crew 21」マーク

(マスコミのお問合せ先)

東京広報 澤井・松田

TEL. 03-3233-703

7

大阪広報 薬師寺・船本

TEL. 06-6614-837

3

(ユーザーのお問合せ先)

ミズノお客様相談センター



0120-320-799

ミズノ・環境情報はCSR情報の中に掲載しています

→<http://www.mizuno.co.jp/csr/>

【参考資料】

1. ミズノ環境方針

1999年3月に最初の「ミズノ環境方針」を制定しました。

2010年4月に全面的改訂を実施し、同月1日から新しい環境方針に沿った活動を行っています。

環境方針は、自社の環境活動における意思表示として社長が制定します。この環境方針に基づいて「ミズノ環境目的・目標」を設定し、さらにこの目的・目標を達成するための実施計画として「環境目的・目標実施計画」を作成しています。

2. 環境目的・目標

「ミズノ環境方針」を具現化していくために、中長期的な目標（到達点）である「環境目的」と、短期的な目標である「環境目標」を設定しています。

なお、「環境目的」については、2010年度までの中期計画期間が終了したため、2011年より2015年を目標到達年度とする新中期目標を設定し、環境保全活動を継続しています。

これらの結果、及び新中期目標については、2011CSR報告書やホームページに掲載しています。

3. 主な地球環境保全活動の概要

(1) 「省エネ、省資源など環境負荷低減の仕組み作り」

環境負荷に代表される二酸化炭素排出量の削減（電気、ガス、ガソリンなどの削減）をはじめ、事業活動に於いて使用するコピー用紙、ダンボールなどの削減について具体的な目標値を設定し、国内全事業所で環境負荷低減の取り組みを推進しています。

(2) 「環境配慮型商品の開発」

Crew 21活動開始当初から積極的に取り組み、ミズノ独自の環境配慮型商品の認定基準を設けて商品（カタログやホームページ）に表示しています。2011年度からは、これまでの認定基準を見直し、商品の企画開発から廃棄まで（素材調達、生産、輸送、販売、使用、廃棄）を考慮した新しいミズノ独自の認定基準「ミズノグリーングレード」を制定しました。

(3) 「グリーン配送、モーダルシフトなど物流面での改善」

1991年に小口商品輸送用紙袋に再生紙製袋を採用して以来、段ボール使用量削減のため、「プラスチック製折り畳み式コンテナ（折りコン）」の導入や、繰り返し使用可能な「プラスチック製段ボール（プラダン）」の導入などグリーン配送を推進、また2005年からは東京の物流センターと大阪の物流センター間のトラック輸送を鉄道輸送に切り替える（モーダルシフト）など物流面での改善に取り組んでいます。

(4) 「スポーツイベント、受注会での環境保全活動」

1999年のミズノオープンゴルフトーナメント以来、ミズノが主催する様々なス

ポーツイベントや受注会において、環境に配慮した什器の使用促進やゴミの分別回収などを実施しています。また、2010年度からは、ミズノビクトリークリニック会場に環境啓発の横断幕を掲げたり、クリニック参加者にエコパンフレットを配布したりして、ステークホルダーへの環境啓発活動も行っています。

(5) 「ミズノ地球環境週間の実施」

6月5日は「世界環境デー」（日本では環境の日）です。ミズノでは1997年以来、環境デーの主旨に賛同して、この前後に国内外の全事業場で周辺のクリーンアップを実施しています。

1999年以降は、6月初旬の1週間を「ミズノ地球環境週間」として位置づけ、クリーンアップの継続のほか、年度ごとに様々な環境保全活動を実施しています。

(6) 「環境報告書の発行」

「環境報告書」とは、企業が、自社の環境に対する取り組み状況を世間に公表する目的で作成する報告書のこと。ミズノでは1999年から毎年「環境報告書」を作成、発行しています。

2004年からは経済面、社会面の取り組みも記載した「CSR報告書」として発行しています。

(7) 「ISO14001認証取得への取り組み」

1997年6月、国内主力工場であるミズノ(株)養老工場（現ミズノ テクニクス(株)）が、スポーツ業界として初めて「ISO14001認証取得」を達成しました。また2002年2月には、国内全事業場が「ISO14001の認証取得」を達成しました。

2004年5月12日には、海外最大の生産拠点である上海ミズノで「ISO14001とISO9001の同時認証取得」を果たしました。

さらに台湾ミズノでは、2008年2月4日に「ISO14001の認証取得」を達成しました。

(8) 「ゼロエミッションへの取り組み」

2002年3月にミズノ テクニクス (株) がゼロエミッションを達成しました。また2003年3月には、国内全製造子会社がゼロエミッションを達成し、現在も達成を維持しています。

※ ミズノでは製造工程から出る産業廃棄物の再資源化率98%以上をゼロエミッションと定義づけています。

4. 次世代の子ども達へのメッセージ

次世代に向けたスポーツ提言「Sports for All Children すべての子ども達にスポーツを」が、2006年1月8日に開催したミズノ創業100周年記念スポーツ・シンポジウムにおいて採択されました。

この提言の中で、“子ども達のために、スポーツ界の環境保全の啓発・実践活動に努めます。”と宣言しています。

5. 主な環境保全活動年表

1991年	2月	水野社長(現会長)、世界スポーツ用品工業連盟の環境保全委員会委員長に就任
	9月	ミズノ地球環境保全活動「Crew21」発足
1992年	1月	「ミズノ地球環境憲章」と「スローガン」制定
	8月	「ノンフロン製法の野球塁ベース」発売
1993年	1月	養老工場で「有機溶剤廃液の再生使用」開始
	2月	小売部直営店で「簡易包装の推進」開始
1994年	6月	商品の配送に繰り返し使用可能な「プラスチック製ダンボール」の導入開始
	8月	「ゴルフクラブ用化粧箱」に再生クラフト紙を採用、種類も3種類に削減
1995年	9月	養老工場で「特定フロン」使用全廃
	11月	「ウェア用化粧箱」を順次廃止へ
1996年	2月	水野社長(現会長)、国際オリンピック委員会 (IOC) のスポーツ・環境委員会委員に就任
	3月	「塩ビを使わない飛び縄」発売 (1996年度・Gマーク商品)
	12月	「リサイクル人工皮革を使用したランニングシューズ」発売
1997年	2月	「リサイクルラバー使用のウォーキングシューズ」発売
	3月	「リサイクルラバー使用のゴルフクラブ」をレディース用クラブ4機種に採用
	6月	スポーツ業界で初めて養老工場(現ミズノ テクニクス(株))が「ISO14001 認証取得」
	9月	「ミズノ環境ラベル」を制定
1998年	2月	長野五輪オフィシャルユニフォームに「リサイクル循環システム」を採用 長野五輪サービスセンター内に環境展示コーナー設置
	7月	環境マネジメントシステム (EMS) を全社で水平展開開始
1999年	3月	「ミズノ環境方針」制定
	6月	ゴルフトーナメント「ミズノオープン」(6月)、「ミズノクラシック」(11月)
	11月	を環境に配慮した大会に
2000年	2月	環境に配慮した軟式野球用グラブ「エコグラブ」発売
	9月	「環境報告書」発行
2002年	2月	「ISO14001」国内全事業場で認証取得
	4月	ミズノ テクニクス (株)、ゼロエミッション達成
2003年	3月	ミズノの全製造子会社(当時7社)、ゼロエミッション達成
2004年	5月	ミズノの海外子会社である上海ミズノが ISO14001 と ISO9001 を同時取得
2005年	5月	ミズノテクニクス(株)にてバット不適合材を使用した木工品を製造・販売
	10月	岐阜県高山市にて「バットの森」育成事業に協力
2006年	6月	「CO ₂ 削減/ライトダウンキャンペーン」に参加
2007年	11月	「1人1日1 kg CO ₂ 削減、私のチャレンジ宣言」に参加
2008年	2月	ミズノの海外子会社である台湾ミズノが ISO14001 の認証取得
	5月	オゾン漂白タオル発売
2009年	11月	ミズノテクニクス(株)でゴルフクラブなどの製造で培ったカーボン成型技術を活用した、風力発電機の翼を開発・販売
2010年	4月	ミズノ環境方針を改訂
	10月	ミズノビクトリークリニックで、環境啓発活動をプログラム化

2011年	2月	環境配慮型商品の新しい認定基準「ミズノグリーングレード」を制定
-------	----	---------------------------------